

平成26年10月3日公表

審議会等会議録

| | |
|----------|---|
| 会議名 | 富良野市保健福祉推進市民会議（平成26年度 第3回） |
| 開催日時 | 平成26年9月3日（水）午後4時30分から午後6時30分 |
| 開催場所 | 総合保健センター 会議室（2階） |
| 出席者等 | <委員> 松田委員、小玉委員、川村委員、井上勉委員、井上和正委員、石津委員、佐藤委員、高井委員、高崎委員、久保委員、南部委員（計11名） ※欠席委員 小野寺委員、浅田委員、桐澤委員、羽根田委員、 <事務局> 鎌田部長、山黒課長、安西課長、日向主幹、村上係長、西出係長、稲葉係長、佐竹主査、増田（計7名） <ぎょうせい> 今泉研究員 |
| 公開・非公開の別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <一部公開又は非公開の理由> |
| 傍聴の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 |
| 傍聴の人数 | 0人 |
| 議事録の作成方法 | <input type="checkbox"/> 全文筆記 <input type="checkbox"/> 要点筆記 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ |
| 会議の内容 | 1. 開会（山黒課長） 2. 部長挨拶（鎌田部長） 3. 委員長挨拶（松田委員長） 4. 議題 （1）高齢者・介護保険に関するニーズ調査の結果報告 （2）基礎調査から抽出した地域課題の把握について （3）介護保険制度改正の概要 5. その他 6. 閉会 |
| 会議資料 | 別紙のとおり |
| その他特記事項 | |
| 問合せ先 | 保健福祉部福祉支援課 電話番号 0167-39-2255 |

市のホームページへの掲載（掲載日 10月3日）

1. 開会

2. 部長挨拶

(鎌田部長より挨拶)

3. 委員長挨拶

(松田委員長より挨拶)

4. 議題

(事務局より説明)

質問

今年度で第5期が終了し、第6期に向けてのアンケート調査だと思いますが、結果としてどのように捉えているのか。

回答

本市では前回、第5期計画のときにニーズ調査を行っていないが、今回の調査は、次期計画の際も行う予定になっている。調査結果は、比較することができるため、今回の調査の結果は次回にも活かす事が出来る。

質問

回収率が65%だが高いほうなのか。今後調査をする上でもう少し率を上げるために考えていることはあるのか

回答

回収率は他の自治体も6割後半から7割で標準的な回収率になっている。回収率向上については、他の自治体で様々で、直接行って回収して回っている自治体もあるが、そこは人数の少ないところ。直接調査票を持って行って、記入もこちらでやるという取り組みをしているところもある。その分マンパワーが必要になる。

質問

回答の項目が抜けてたり、回答されていないことはあるのか

回答

記入状況は抜けているという事はなく、ほぼ正しい形でご記入されている。はいといいえの両方とも○を付けている場合は、状態が悪いというほうによせて修正して回答集計している。

質問

認知症サポーターや認知症キャラバンメイトはどういうものか

回答

認知症サポーターは、地域で見守っていただくと言う役割で、特になにかケアをすとか、ボランティア活動を今こう言った事をすると言う具体的な活動はしていない。地域の中に認知症の事を理解している方を増やそうと言う活動。国で行われている認知症対策のオレンジプランに基づいて、各市町村でも認知症を理解する人を増やそうという運動。一定の決まりのある講座を開いて、それに受講した方が、サポーターとして認められる。講師役をするためには、この講師役を努める事が出来る講座を受けなければならないが、講師役ができるのがキャラバンメイトで、富良野市には資格を持っている方が14名

いる。サポーター養成については年間7回から8回実施している。今は養成のみで、養成後のフォローアップや活動への展開は出来ていないのが現状。

質問

「ふまねっと」と言う運動をやっているが、普及させようと思って、場所を借りたくてもどこに持って行っていいのかわからない。運動そのものはボランティアでやろうと思っているが、直接文化会館などに集めてやる場合、歩くのが不自由な方が対象の場合には地域でやりたい。そう言う場合に町内会を訪ねて行けるような窓口を、どこかの担当の課でやってもらいたい。施設を借りるのも、自費で施設を借りてやっている状態。それでは長続きする運動にならない。配慮をお願いしたい。

回答

介護予防や認知症の予防になる。ふれあいサロンなど、各地域のみなさんが足を運びやすい場所で行うのが必要。生活の拠点となる小さな単位での会館とか、児童センターとか身近な施設での利用や今後の介護予防や認知症予防の活動の展開について、今のご意見を参考にして、地域に広がりを持った形で出来るように検討して行きたい。

5. その他

次回第3回市民会議は10月下旬を予定。